

サービス見込量の進捗管理のための作業シート(令和5年度)

計画値：令和5年度、実績値：令和6年3月末

ステップ1：認定率の比較

(%)

	計画値	実績値	差異	実績/計画	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率	19.7%	19.2%	0.4%	97.9%	
年齢階級	前期高齢者	4.8%	5.2%	-0.3%	106.7%
	後期高齢者	34.6%	33.3%	1.2%	96.4%

認定者数

(人)

計画値(R5)	実績値(R5)
15,319	14,925
1,895	2,008
13,424	12,917

第1号被保険者数

(人)

計画値(R5)	実績値(R5)
77,902	77,565
39,085	38,824
38,817	38,741

ステップ2：受給率の比較

(%)

サービス名		計画値	実績値	差異	実績/計画	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	1.9%	2.0%	-0.1%	107.1%	
	訪問入浴介護※1	0.1%	0.1%	0.0%	132.3%	訪問系サービスは、令和2年度以降利用者が増加しており、実績値が計画値を上回っている状況である。要因としては、過去数年コロナ禍の影響による外出控えが考えられ、通所系サービスから訪問系サービスへ変更している利用者が多いと考えられる。
	訪問看護※1	1.4%	1.6%	-0.2%	114.9%	※日常生活圏ニーズ調査(R4)より、外出回数の減少や体力低下の回答が多数ある。
	訪問リハビリテーション※2	0.4%	0.4%	0.1%	82.6%	実績はここ数年横ばいの中で、増加する計画値との間で乖離が生じたものと考えられる。
	居宅療養管理指導※1	3.0%	3.3%	-0.3%	110.1%	利用者が自宅にいながら医療や介護の指導を受けることができ、移動の負担も少ないことから、H30年以降利用者が増加している。
	通所介護※2	6.4%	5.6%	0.8%	87.3%	通所系サービスの利用者は居宅サービスで一番多いが、令和2年度以降は減少傾向となっている。要因は、コロナ禍の影響により、サービス利用状況に変化が生じていることが考えられる。
	通所リハビリテーション※2	2.5%	1.7%	0.8%	67.5%	※在宅介護実態調査(R4)より、「通所のみ」や「サービス未利用」の割合が減少し、「訪問系のみ」や「訪問+通所」といった訪問系サービスを含むサービス利用割合が増加している。
	短期入所生活介護	0.4%	0.4%	0.0%	90.2%	
	短期入所療養介護(老健)※2	0.1%	0.1%	0.0%	68.8%	通所系サービスや居住系サービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が伸びずに計画値との乖離が大きくなったと考えられる。
	短期入所療養介護(病院)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	福祉用具貸与	9.4%	8.9%	0.5%	94.3%	
	特定施設入居者生活介護	0.6%	0.5%	0.0%	96.7%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型※2	0.1%	0.0%	0.1%	27.3%	施設整備を進めたことにより、利用者数は年々増加しているが、計画値の見込まで達していない状況が続いている。計画値の見込量に関して、事業者数が少なかったことにより見込量の積算を多く見積もったことが要因と考えられるため、第9期の積算では見直しを検証する。
	夜間対応型訪問介護					
	認知症対応型通所介護※2	0.0%	0.0%	0.0%	74.1%	認知症の方が利用するサービスとして、通所系よりも入所系の要望が多く利用者が伸びていない可能性があるのではないかと。※介護保険サービス事業所調査(R4)では、認知症の通所介護よりも共同生活介護の要望が高い傾向。
	小規模多機能居宅介護※2	0.4%	0.3%	0.1%	85.7%	実績はここ数年微減の中で、増加する計画値との間で乖離が生じたものと考えられる。
	認知症対応型共同生活介護※2	0.4%	0.4%	0.0%	89.1%	実績はここ数年横ばいの中で、増加する計画値との間で乖離が生じたものと考えられる。
	地域密着型特定施設入居者生活介護※2	0.2%	0.2%	0.0%	80.3%	施設整備を進めたことにより利用者数は過去3年間増加しているが、計画値まで利用者が伸びず乖離が生じている。
	地域密着型介護老人福祉施設※2	0.4%	0.3%	0.2%	57.5%	実績はここ数年増加しているが、今年度の計画値に追いつかなかった。
	看護小規模多機能型居宅介護※2	0.2%	0.0%	0.1%	21.6%	事業者へ公募をするも、応募者がいなかったことから見込量と実績に乖離が生じている。
	地域密着型通所介護※2	0.6%	0.5%	0.1%	89.8%	広域の通所介護と同様に、コロナの影響により利用者が減少していると考えられる。利用減分は訪問系へ移行していると考えられる。
施設サービス	介護老人福祉施設	0.8%	0.8%	0.1%	94.0%	
	介護老人保健施設	1.0%	1.0%	0.0%	95.1%	
	介護医療院※1	0.1%	0.1%	0.0%	124.0%	介護医療型医療施設の廃止により利用者が流れてきたものと考えられる。
	介護療養型医療施設※2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	R5年度で廃止
介護予防支援・居宅介護支援		11.8%	11.6%	0.2%	98.1%	

利用者数

(人)

計画値(R5)	実績値(R5)	実績値(R4)	実績値(R3)
17,520	18,681	17,539	16,733
684	901	913	784
12,768	14,609	12,460	10,432
4,068	3,346	3,545	3,595
27,912	30,606	27,844	25,186
60,132	52,279	51,855	52,828
22,920	15,405	16,068	17,824
3,744	3,364	2,685	2,688
1,092	748	561	626
		0	0
88,116	82,750	80,472	77,972
5,280	5,085	4,808	4,682
1,392	379	396	367
240	177	146	134
3,600	3,071	3,114	3,204
4,104	3,640	3,673	3,524
2,088	1,670	1,502	1,017
4,176	2,389	2,353	1,879
1,740	375	356	250
5,304	4,741	4,184	4,428
7,920	7,409	7,399	7,489
9,492	8,990	8,703	9,004
588	726	500	423
252	0	198	260
110,388	107,796	105,891	104,782

※1実績値/計画値が110%以上のサービス(実績値が計画値を10%上回っているサービス)⇒ピンク

※2実績値/計画値が90%未満のサービス(実績値が計画値を10%下回っているサービス)⇒水色

3年間利用者増のサービス⇒ピンク

3年間利用者減のサービス⇒水色

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円)					
サービス名		計画値	実績値	差異	実績/計画
居宅サービス	訪問介護※1	86,655	113,357	-26,703	130.8%
	訪問入浴介護※2	80,026	62,654	17,372	78.3%
	訪問看護※2	45,936	36,862	9,074	80.2%
	訪問リハビリテーション	41,464	40,827	637	98.5%
	居宅療養管理指導	6,847	7,323	-477	107.0%
	通所介護	148,158	147,176	983	99.3%
	通所リハビリテーション	87,921	94,573	-6,652	107.6%
	短期入所生活介護	73,880	74,385	-506	100.7%
	短期入所療養介護（老健）	64,063	69,254	-5,191	108.1%
	短期入所療養介護（病院）				
	福祉用具貸与	9,214	9,781	-567	106.2%
	特定施設入居者生活介護	190,058	200,051	-9,994	105.3%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型※1	161,585	197,566	-35,981	122.3%
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護	179,525	167,621	11,904	93.4%
	小規模多機能居宅介護	204,617	219,059	-14,442	107.1%
	認知症対応型共同生活介護	266,680	264,885	1,795	99.3%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	191,613	205,891	-14,278	107.5%
	地域密着型介護老人福祉施設	290,489	289,915	574	99.8%
	看護小規模多機能型居宅介護※1	216,097	252,933	-36,836	117.0%
	地域密着型通所介護※2	101,265	88,918	12,346	87.8%
施設サービス	介護老人福祉施設	272,224	273,799	-1,574	100.6%
	介護老人保健施設	291,847	292,598	-750	100.3%
	介護医療院	338,784	358,222	-19,438	105.7%
	介護療養型医療施設	364,583	—	—	R5年度で廃止
介護予防支援・居宅介護支援		13,092	13,717	-625	104.8%

※1 実績値/計画値が110%以上のサービス（実績値が計画値を10%上回っているサービス） ⇒ピンク
※2 実績値/計画値が90%未満のサービス（実績値が計画値を10%下回っているサービス） ⇒水色

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題

ステップ1（認定率比較）に関しては、要介護認定率、認定者数、第1号被保険者数とともに、計画値と実績値の差異はあまりなく、概ね見込通りの推移となっている。
ステップ2（受給率の比較）に関しては、令和2年度以降、医療ニーズの高い要介護者が利用する居宅療養管理指導や訪問系サービスの受給率が高くなっている。要因として、ここ数年の新型コロナウイルスの蔓延に伴い、人が集まる通所系サービスの利用を控えた方が訪問系サービスへ移ることで、通所系サービス減、訪問系サービス増の流れがある。地域密着型サービスに関しては、施設整備が利用者増へと繋がっているが、全体的に計画値までは実績値が達していない状況である。
ステップ3（受給者一人当たりの給付費）に関しては、計画値と実績値は全体的に見込み通りだが、乖離が生じたサービスに関しては、利用者の重度化状況や利用回数、処遇改善加算等の影響がどのくらいあるのか動向を確認する必要がある。今後の課題としては、新型コロナウイルス感染症の影響について注視しながら、計画値と実績値の乖離状況を分析し、利用者のニーズ及びその変化を把握していくことが重要と考える。

(円)			
計画値 (R5)	実績値 (R5)	実績値 (R4)	実績値 (R3)
1,518,191,000	2,117,627,888	1,788,591,778	1,567,857,656
54,738,000	56,451,401	57,177,583	50,342,339
586,508,000	538,515,866	478,778,191	449,478,842
168,675,000	136,606,576	144,148,447	147,858,863
191,103,000	224,137,798	195,392,005	171,858,192
8,909,063,000	7,694,194,980	7,642,010,645	7,783,786,952
2,015,152,000	1,456,904,724	1,487,011,884	1,633,296,349
276,605,000	250,231,731	196,383,105	227,538,361
69,957,000	51,802,166	41,127,081	42,540,685
811,898,000	809,372,643	771,129,962	723,219,078
1,003,505,000	1,017,260,864	938,810,249	901,712,261
224,927,000	74,877,615	71,377,274	61,971,782
43,086,000	29,668,968	27,684,637	28,069,398
736,621,000	672,730,562	645,061,525	669,229,798
1,094,455,000	964,180,133	953,422,857	905,660,345
400,088,000	343,837,199	299,618,286	207,601,418
1,213,080,000	692,605,939	660,822,485	524,703,612
376,009,000	94,849,922	92,939,353	60,608,030
537,107,000	421,561,371	408,648,768	473,642,076
2,156,015,000	2,028,573,402	1,997,323,965	1,992,855,277
2,770,215,000	2,630,453,569	2,523,859,933	2,566,101,582
199,205,000	260,069,473	180,579,811	151,180,962
91,875,000	0	65,359,029	83,819,902
1,445,246,000	1,478,672,703	1,431,170,140	1,419,841,483

3年間給付費増のサービス ⇒ピンク
3年間給付費減のサービス ⇒水色